

「福祉レクリエーション」の 専門的職員の育成支援講座

町田福祉レクリエーション研究会
〒198-0087 青梅市天ヶ瀬町 990-4-207

助成事業の概要

【実施目的】

福祉分野では認知症や介護予防の観点から「福祉レクリエーション」に関する知識と技能が昨今特に要求されております。それにも関わらず職場の体勢は充分と言えない状況です。その為に福祉レクリエーションの学習会を継続的に開催をしてこの方面のスペシャリストとして働ける人材育成を目的として開催いたしました。

事業の成果

【目的達成度】

本研修会は以下の分野にそって実施しました。

- 1, 福祉レクリエーションの基礎理論…4回
- 2, 福祉レクの支援論（事業論を含む）…7回
- 3, 福祉レクの演習（町田クリスマス大会）…1回
- 4, レク財の研究…11回

合計 23 回の集合研修

当初全 20 回を予定していましたが、受講生からの要望で理論面の内容をシンプルにし実技面を強調した講習会となった。

具体的には

- (1) 手話講習を 4 回……復習ができる様に DVD 教材も利用
- (2) ニュースポーツを 3 つ取り上げた……
フランス生まれのペタンク
スウェーデンの伝統スポーツのクップ（薪という意味）
日本生まれの囲碁ボール

- (3) レクダンスを 3 回……

音楽に合わせて体を動かすレクダンスは人気の高い種目でした。

- (4) さをり織りの体験を 1 回

以上、レク財の体験から始まり、実際に職場で使える様に講習会を設定しました。

【得られた成果や課題】

参加者からの意見ですが

認知症の利用者に対する個別対応や対処の仕方を教えて欲しい、来月施設の誕生会の担当になったが何をどの様にすれば良いのかよくわからない、今年より施設のレク担当者になったがどの様なことをすればよいのか分らず、悩んでいる。なかにはレクの当番はとても私にできそうもないので仕事を辞めますねと言う者までおられました。

この様に本研究会の研修には福祉現場からの参加者がほとんどで、現在この時点で問題となっている仕事上の問題を解決したく参加する場合はほとんどです。

この為に具体的なレク財の研修と修得に大きな比重をかけて実施しました。

今回は施設側からは研修会そのものを高く評価し、それなりに職員の派遣もして頂きました。その点前回より理解はされてきた様に思えます。

今回参加して頂いた方には同じ様な職場で同じ様な悩みを抱えていることから、仲間を知ることによって精神的な安心感となりがしかの解決を図ってく

れる本研究会の存在を知らせることができました。

本研究会もますますこの方面で働いておられるこれらの人へ協力し解決し、自信を持って働ける環境づくりが私どもの課題と言えます。

【参加者の感想】 アンケート調査の実施

研修会に参加して役立ったか、

役に立ちましたか	
とても役に立った	320
役に立った	159
普通	0
役に立たなかった	0
その他	4

参加して楽しかった

参加して楽しかったか	
とても楽しかった	332
楽しかった	136
普通	11
楽しくなかった	1
その他	3

今後の希望

続けて開催して欲しい、もっとレク財（マジック、集会のゲーム、レクゲーム、音楽アクティビティ）とかをして欲しい、サークルを作りたい、今後とも研修を続けていきます等様々な感想を頂きました。

成果の広報、公表

残念ながら広報等に公表されてはいません。

ただこの事業をしていることでボランティアセンターから研修の講師として依頼をされています。

私どもの研修をPRする意味で各施設（町田市、

相模原市、八王子市）に研修の呼びかけと内容をお知らせしております。

今後の展開

- (1) 受講生には研修会メンバーとして今後とも研修事業を支えて頂く。
- (2) 共通の研修の場として各自の福祉施設を回り持ちでボランティアに出かける。
- (3) 上記の(1)と(2)を中心に進めることでお互いのネットワークとなる。
- (4) これらの発展形として市や社会福祉協議会とも連絡をとりながら現場のニーズにあったレク財を開発していく。